

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200817		
法人名	株式会社ケアクオリティ		
事業所名	グループホームケアクオリティシヤンテ		
所在地	静岡市駿河区聖一色73-1		
自己評価作成日	令和元年10月13日	評価結果市町村受理日	令和元年 12月 23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人静岡県介護福祉士会
所在地	静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
訪問調査日	令和元年 11月 26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人の理念、そして、事業所の理念を尊重し、ご利用者様おひとりに合わせた、ケアプランを作成し、それに沿った介護を行いご利用者様の想いに寄り添い共に歩んで生ける様なサービスを提供します。「グループホームは施設ではなく家」、「家庭的な雰囲気を大切に」ということと、認知症高齢者の身体的、心理的理解を深め、認知症介護の専門職集団として専門的ケアが提供出来る様に、ミーティングや研修を通して周知しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所理念を玄関に掲示し、月1回のミーティングや研修の中で話題にし共有を進めている。「ありがとう」を目を合わせて言えるよう、日々の介護の中で職員全員が努力しており、結果として利用者の笑顔が多くなっている。毎日の来訪が2家族、週1回の来訪が2家族、毎週の来訪が数家族、他の家族も月に1回以上来訪と、継続的に来訪する家族が多い。管理者は就任後5ヶ月とまだ日が浅いが、事業所の現状を良く把握し、落ち着いて職員を指導し意見も良く聞いている。職員はチームワークが良く、派遣社員も戦力に取り込んでいる。訪問診療所との連携により、月2回の往診と緊急時24時間の対応が可能となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		1. ほぼ全ての家族と ○ 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を作成し、理念に近付ける様、管理者・職員共に努力している。	事業所理念を玄関に掲示し、月1回のミーティングや研修の中で話題にし共有をすすめている。「ありがとう」目を合わせて言えるよう、日々の介護の中で職員全員が努力しており、結果として利用者の笑顔が増えてきた。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の準会員として加入している。公民館で行われている「さわやかサロン」に参加したり、可能な限り、地域の催しには参加している。日常的に散歩に出かけ地域の方と挨拶や雑談をしたりしている。	職員同行でS型サービス「さわやかサロン」に利用者3人が参加し、職員同行で町の夏祭りに招待され利用者2人が参加した。近隣の幼稚園を利用者2人が訪問し、管理者同伴で交流している。バンド等ボランティアの来訪もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等で、地域包括の職員さんや民生委員の方に連携できる事はないか模索している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括、町内会長への報告や、情報交換を行っている。	偶数月中旬の平日に定期開催し、事業所から現況や活動報告、看取りの報告を行い、参加者から看取りに関連した職員のケアについての提案や災害対策への意見等が出ている。地域包括支援センターや訪問診療所職員、市介護相談員等が参加している。	町内会長や民生委員、地域の住民や家族の参加がなく、現状は参加者が限られている。運営推進会議の充実と活性化のため、地域住民関係者からの参加が期待される。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要書類については、直接提出している。社会福祉協議会・生活支援課とも綿密に情報交換している。	介護保険課に運営推進会議議事録や提出書類を直接持参し、必要時は相談をしている。生活保護入居者の関係で生活支援課の来訪が年数回、自立支援事業関係の社協の訪問と市介護相談員の訪問が各々月1回ある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ宣言のポスターを玄関に貼り、身体拘束をしないケアを実践している。三ヶ月ごとに振り返りし、アンケート調査を実地している。	全職員対象のアンケートを3ヶ月に1回実施し、毎月のミーティングで反省点を話し合っている。スピーチロック根絶のために、職員同士が馴れ合いにならず互いに注意できる雰囲気作りを行なっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束同様に、研修を実地し職員の意識向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度を利用している方がいるので、社内研修などで知識を広げ支援の必要性を理解するよう努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や、改定が有った際は説明し理解・納得が得られるようにしている。後日問い合わせが有った際も対応し、再度説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	伺った要望に対して、対応可能なものは事業所運営に反映させ本社に報告している。 ご家族には、面会時やケアプラン説明時に、聞き取り調査を行っている。	2家族が毎日、2家族が週1回、数家族が毎週末等、継続的に来訪する家族が多い。また遠方の家族も月1回の受診に合わせて来訪がある。来訪の都度意見等を聞き、反映させている。毎月「シャンテ通信」を個人別の便りに同封し郵送しており、家族からの評判が良い。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス等で上がった意見や要望に対し、対応可能なものは反映させ本社にも確認している。 対応できないものに関しては、理由も付け加えて説明している。	毎月のミーティングでは職員全員が自由に意見を発表し、議論が白熱することもある。それらの意見を運営に反映させている。管理者は職員との良きコミュニケーションを心がけている。年2回個人面談を実施しているが、心配のある職員等には随時声掛けをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得祝い金や、手当てがあり、研修費用等は、会社負担や補助もある。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として「新入職時研修研修」・「初級研修」等、勤務年数に応じた研修を行なっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会議や委員会、研修を通じて、他事業者との交流を図れるようにしている。また、行事等は相互間で協力し合いサービスの質の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人のお話をしっかり聞き、何を求めているのかを聞くよう指導している。 近隣のスーパー、ドラッグストアに買物に出かけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご意見箱の設置や電話対応・面談など、様々な方法で関係作りをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	暫定プランを作成し、ご家族の要望を取り入れ内容を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物をたたんで頂いたり食器拭きをして頂いたりして、出来ないことは声掛けをしながら職員と一緒にやっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や毎月送付しているシャンテ通信、報告書にて、ご本人の様子を報告し、意見なども頂戴している。 行事等家族にも一緒に過ごして頂ける様心掛けてる。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出・外泊をして頂いている。	S型サービス「さわやかサロン」で旧友に会ったり、友人が来訪して居室で話したり、編み物友達が月1～2回来訪している。また家族同伴で友人宅を訪ねたり、馴染みの美容室を利用したり、法事や墓参りに家族同伴で出かける利用者等がいる。それぞれの関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握した上でレクリエーションやお手伝いの中で職員が橋渡ししてかわりを持てるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、ご家族の相談に乗り不安なく過ごして頂ける様に支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランのモニタリング時や面会時に、ご本人・ご家族に聞き取りを行っている。 また、支援経過記録やカンファレンス等で情報共有に努めている。	家族の情報等から利用者との会話が弾むように、本人の好きな人や昔話をするなどして意向の把握に努めている。職員は現場や申し送り等で情報を共有し、希望の実現に向けた支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人と話の中で何気なく聞き出したり、入居後もご本人の話や、様子、ご家族に聞き取り、確認をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、バイタルチェックを行い状態の変化に気付ける様「ごきげんいかが」に記録している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の意見・要望、職員の意見等をカンファレンス等で出し合い、検討してケアプランやサービス提供に反映させている。	月1回のミーティング後半でカンファレンスを行い、モニタリングの書類は報告書として家族にも伝えている。介護計画の作成について、職員参加が少ないので、今後は居室担当者だけでなく、職員全員が参加できるように検討している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や連絡ノート、個別ケアチェック表の記載、申し送りで情報共有できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設内でのイベントやレクリエーション、同法人内のお祭りや他法人の催し、地域のお祭り、活動等に出来る限り参加している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館で行われているS型デイサービス「さわやかサロン」へ参加したりしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療所との連携により、月二回の定期往診と緊急24時間対応出来る様になっている。	入居時に説明して家族の希望する医療機関としており、現在は利用者全員が月2回の往診で24時間対応の訪問診療所に受診している。受診結果は、毎月のホーム便りと共に書面でも家族に報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護に週一の医療連携により、情報共有を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者やご家族に、ご本人の経過を伺い、今後の対応等の情報共有を行っている。退院時にも情報提供書を頂いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や看取りの指針は入居時に説明を行ない、同意を得て書類を交わしている。実際にはその様な時期が近くなった際には、主治医と連携をし早い段階で対応出来るように情報共有している。	入居時に「重度化及び看取り介護の指針」による説明を行っている。看取りについては家族に確認して同意を得て、利用者の状態や希望に添った対応をしている。看取り後の職員の心のケアについて運営推進会議で提案があり、研修を検討中である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	「急変時マニュアル」を用意している。カンファレンスで定期的に目を当てて周知している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のフローチャートを掲示し周知している他、災害時、被災者の受入の検討もしている。	年2回の防災訓練のうち1回は12月に消防署立ち合いの火災訓練を予定している。今年の台風では非常食を食べて味や形状等を確認し、現在様々な意見を聞いて備蓄の量や内容の見直しを行っているところである。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	気になる声掛けがあった際には職員同士で注意しあったり、ご本人や第三者から見て聞いてどう思うかという視点で指導している。	法人や事業所内の基礎研修、また入所時のオリエンテーションの冊子を活用し、「自分がされていやなことを人にはしない」等、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意見や意思・要望等を確認してから支援を行うようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様一人ひとりの要望やペースを把握し、それに合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理容・美容は訪問理美容を利用している。一部のご利用者様は近所の美容室を利用しており、お店の方と連携して見守り等も行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事があれば、一緒に手伝っていただいている。利用者様の好きな献立のリクエストに応えるようにしている。	職員が利用者の意見も取り入れて献立を考え、職員手作りの食事を一緒に食べている。食材の買い物に同行したり、玉ねぎの皮むきや食器拭きをしたり、利用者ではできる作業を行っている。外食は個別で家族等と出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取量を記録し把握出来るようにしている。摂取量が少ない場合は形態や方法を見直し、摂取量の確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行う。声掛けや介助等、ご本人に合った支援方法を取り、使用する道具も状態に応じて変えている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時でのトイレ誘導やご本人の活動中での声掛けを行っている。 カンファレンス等で話し合いをし、ご本人に合った排泄を心かけている。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、声の大きさや誘い方を工夫して時間や表情を見て声掛け誘導を行っている。自らトイレへ行く利用者が半数近くおり、その場合は排泄後に自己申告で状態確認をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品の摂取や繊維質の多い食品など、飲食物で便秘予防出来る様にしている。 排便確認、便秘傾向でないかを確認し、定期受診時には主治医と相談しながら薬の処方もしていただいている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴が好きな利用者様にはゆったり入って頂ける様心掛けています。 拒否のある方には声掛けの工夫や、職員を交代する等して対応している。	1日おきの入浴で、入浴を拒む利用者には声掛けや職員を交代する等の工夫をしている。利用者の希望や保湿効果もあり、入浴剤を使用して香りを楽しみながら入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休みたい時には、身体状況に応じて居室で休んで頂いている。 夜間就寝もお一人おひとりに応じた時間に就寝・消灯している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに服薬情報を載せ、職員がいつでも確認できるようにしている。 薬に変更があった際にも、ケース記録や申し送りファイルに記入する等、情報の共有化に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴から得意分野での役割を持っていただき、家庭菜園や、お散歩等ご本人の意思を尊重しながら行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候のいい日には、施設周辺に散歩に出かけたり、買物・ドライブ・外食等、ご本人から要望があれば職員、ご家族様にお申し出されれば出かけられるよう支援している。	天気の良い日に事業所周辺を散歩したり、ベランダや玄関先のベンチに座って外気浴をしている。紅葉狩りや花見に出かけたり、散歩がてら近くのコンビニエンスストアで買い物をしたり、また個別で家族と外食や買い物等に出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者の預かり金はホームの金庫にて保管している。 ご自身で管理しているものをお持ちの方には職員と一緒に朝・夕お小遣い帳を付け、確認している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望があれば、自由に使っていたり。 携帯電話をお持ちの方も自由に使っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に穏やかに過ごして頂ける様、明るさ、温度などを随時調整している。 共用の空間には季節感を感じて頂ける様な飾り付けをする様心掛けている。	廊下や居間は広くて明るい。居間の壁には季節の飾り、玄関には入居後に作った利用者個人の作品や幼稚園児から贈られた絵が飾られている。エアコンは季節の変わり目に本社設備担当者により点検清掃作業が行われ、清潔に保たれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用の空間ではテレビを観ながら馴染みの利用者達がお話したり、歌番組では一緒に歌ったりしている。 自室にある方は自室で自由に過ごしていただく様にしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具や写真、ご自分で職員と作った作品を飾ったり馴染みのあるものを置いて居心地の良い空間作りをしている。	洗面台があり、使い慣れた家具やテレビ等が置かれている。編みかけの毛糸や富士山の絵、机の上にルーペや道具入れの小引き出しが置いてある等、趣味を継続していることがうかがわれる居室がいくつか見られた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレと分かる表示は、身長なども考慮し利用者の目線に合った場所に貼っている。		